

# 宮城小だより

## No. 18



前橋市立宮城小学校

平成29年11月21日(火)

<http://menet.ed.jp/miyagi-es/>

### 人権週間の取組

毎年、世界人権デー（12/10）までの1週間は「人権週間」として様々な取組が行われます。本校では、これに先立つ10月30日（月）～11月10日（金）を校内人権週間と位置づけ、人権を考える機会を設けてきました。

友達との関係を考える「なかよしアンケート」、学級で決めた「なかよし宣言」の実践を振り返る話し合い、道徳の授業、人権ビデオの視聴と人権作文などを通し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める心を養う集中学習としました。また、11月6日（月）には人権擁護委員さんによる人権講話、11月9日（木）には「なかよし集会」で児童会本部児童による劇で相手を思いやり仲良く生活する言葉と行動を考える機会も設けてきました。

人権感覚や人権意識は、当然のことながら毎日の生活の中で培われていくものです。一人一人が、自分が大切にされている実感を持ち、学校・家庭・地域に安心できる居場所をもって生活していることが、他人を大切にする気持ちにつながるものと思います。集中学習はそのきっかけの一つととらえています。今後も毎日の教育活動を通して、人権教育を進めていきたいと思ひます。



### タブレットPC活用授業実践研究発表会



本校では昨年度から、前橋市教育委員会「タブレットPC活用授業実践校」の研究指定を受けており、11月17日（金）に、研究発表会を開催しました。1年1組（図工）と5年1組（算数）で授業公開し、市内各小中学校から参加いただいた先生方にその成果を見ていただきました。

1年生では、箱を重ねてできた形を、子ども自身がタブレットで撮影して記録したり、写真を見合っで感想を交流したりしました。5年生では、台形の面積を求める考え方をタブレットの画面上の図に書き込み、発表し合いました。

子どもたちが、手慣れた様子でタブレットを扱い、積極的に活動する姿に、参観した先生方も感心していました。

ただし、タブレットの扱いが授業のねらいではありません。形作りや面積を考える道具としてタブレットを使うことに価値がありました。今後もタブレットだけで授業を行うことはありません。場面に応じた効果的な使い方を工夫することが大切と考えています。

なお、タブレットやスマホが広く普及し、子どもたちにとっても、今後ますます身近な道具となるでしょう。大切なのは、使う目的を考え、道具に振り回されないことです。子どもたちには、実感を伴った直接的な体験をたくさんしてほしいと思ひますし、SNS等ネット上のトラブルも心配です。判断力が未熟な小学生では、周りの大人と一緒にルールを決め、約束の中で使うよう、見守る必要があります。ご家庭でタブレット等に触れることがあれば、使う時間や場所、目的、アクセス先等を必ずご確認くださいよう願ひします。

